

科目名	野菜	単位数	2 単位	学科・学年	農業総合 科 3 年	
使用教科書	野菜 実教出版	副教材等				
学習目標	<p>野菜はからだの成長や健康の維持と増進に欠かせない、大切な食べ物です。日頃店頭に並んでいる野菜に目を向けて以下の点について勉強します。</p> <p>①一粒の種から植物としての野菜の生育のようすを種まきから収穫に至るまでを座学と実習によって勉強します。</p> <p>②いつも良い品質の野菜を生産するためには野菜の性質にあった環境にすることが大切です。光や温度・土・水・肥料などをどうすれば野菜がよく育つかをみんなで考えていきます。</p> <p>③昨年は野菜栽培における全般的なことを学びましたが、本年度はスイカやメロン、トマトを取り上げ、それぞれの栽培方法等について学びます。</p>					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	通常の授業では野菜に興味をもち、積極的に授業へ参加しているかどうか、また実習を伴う体験的な授業では主体的に取り組んでいるか。				
	②思考・判断	野菜全般（生理的特性、栽培方法、栽培環境、流通等）について理論づけて理解できているか。				
	③技能・表現	各野菜の生理形態をスケッチし考察ができるかや、理論づけて考えたことを頭の中で整理し言葉で表現できているか。				
	④知識・理解	前回、勉強した内容について理解しているか、プリントを使った理解度復習				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	○	○	—	自己評価の実施
プリント教材		—	○	○	◎	復習プリント
ノート提出		◎	○	○	○	学期に1回提出
ペーパーテスト		—	◎	◎	◎	確認テスト・定期考査
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<p>○授業形態は座学が中心ですが、野菜の生育状況によっては実習を行うこともありますので、常に実習服の準備をしておいて下さい。</p> <p>○毎学期1度は必ずノート提出があります。毎回の授業でしっかりノートを書くようにしましょう。文具として鉛筆の他に、必ず赤ペンを準備して下さい。</p>					

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1 学 期	4	1 年次の復習 野菜の分類・野菜の基本的な生育と生理 第4章 果実を利用する野菜の栽培 スイカ 1 栽培上の特性 2 経営上の特性	6	○本年度の学習内容にすんなりと入ることができるように復習します。 ○スイカの生理・生態や適切な栽培管理を学びます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【復習プリント】 【1学期中間試験】
	5	3 作型と品種の選び方 4 栽培管理	6	○スイカの生産、消費の動向について学びます。 ○播種～収穫までの栽培管理について学びます。	
	6	5 商品価値を高める技術 6 栽培の評価	8	○より高品質のスイカの栽培方法を学びます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【復習プリント】 【ノート提出】 【1学期末試験】
	7	温室メロン 1 栽培上の特性 2 経営上の特性 3 作型と品種の選び方	6	○メロンの生理・生態や適切な栽培管理を学びます。 ○メロンの生産、消費の動向について学びます。	
2 学 期	9	4 栽培管理 5 商品価値を高める技術 6 栽培の評価 トマト 1 栽培上の特性	8	○トマトの生産、消費の動向について学びます。 ○トマトの生理・生態や適切な栽培管理を学びます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【復習プリント】 【2学期中間試験】
	10	2 経営上の特性 3 作型と品種の選び方	8	○トマトの栽培環境について生育条件と絡めて学びます。	
	11	4 栽培管理 5 商品価値を高める技術	7	○播種～収穫までの栽培管理について学びます。 ○より高品質のトマトの栽培について学びます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【復習プリント】 【ノート提出】 【2学期末試験】
	12	6 栽培の評価	7		
3 学 期	1	第7章 野菜の流通と経営改善 1 野菜の流通と鮮度保持 1 野菜の流通のしくみ 2 野菜の鮮度を保つ技術	6	○野菜が生産者の手を離れて消費者の元に届くまでの課程を学びます。	【学習状況観察】 【自己評価】 【復習プリント】 【ノート提出】 【学年末試験】
	2	2 野菜生産の経営改善と課題 1 野菜生産の経営改善の方策 2 野菜生産の課題	8	○野菜経営によって、安定した経営をするために必要なことを学びます。	
時間数合計			70		